

長岡京の蘇民将来呪符木簡

(長岡京市指定文化財)



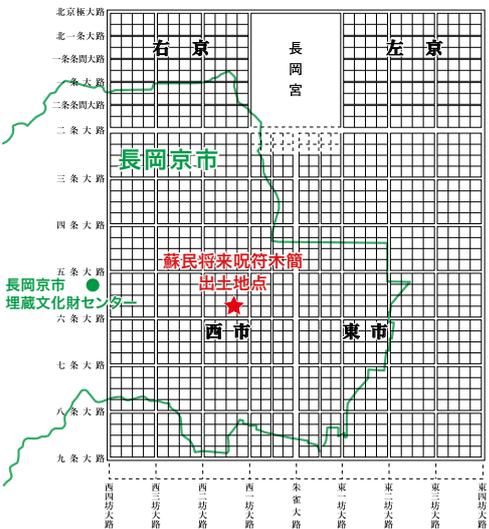
(原寸大)

蘇民将来呪符木簡は、長岡京市開田四丁目で出土しました。表と裏に「蘇民将来之子孫者」と墨書きされた木の札で、小さな穴が開けられ、御守のように身に付けていたと考えられます。「蘇民将来」の呼称は、現代まで厄除けの民間信仰として伝えられています。その代表的な例は、京都の夏の風物詩である祇園祭に見ることができます。祇園祭の山鉾では粽が授与されますが、粽に付けられた紙の札には「蘇民将来之子孫也」と書かれています。長岡京跡から出土したこの木簡は、蘇民将来信仰の最も古い例なのです。

長岡京 蘇民将来呪符木簡

患病息災

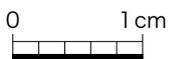
公益財団法人 長岡京市埋蔵文化財センター



「蘇民将来
之子孫者」



「蘇民将来
之子孫者」



長さ 2.7cm
幅 1.3cm
厚さ 0.2cm